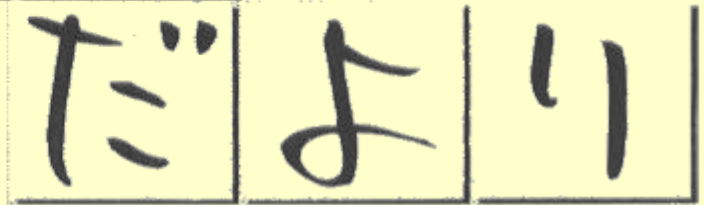


No. 8

西東京市男女平等推進センター



2012年10月17日発行

女性に対する暴力をなくす運動週間に DV に関するパネルを展示します

### 配偶者暴力(DV)は身近で起きています

**Q** 配偶者から一度でも暴力を受けたことがある女性はどのくらいでしょうか？

①3人に1人      ②13人に1人      ③25人に1人

**A** ①3人に1人

女性の3人に1人が、何らかのDV被害を受けたことがあり、10人に1人は何度も受けたことがあると回答しています。<sup>注1)</sup>

また、DVは個人的な人間関係の問題と考えられがちですが、「夫が妻に暴力を振るうのはある程度は仕方ない」「収入の多い方が家族を養っているのだから、言うことを聞いて当然」等の社会通念や先入観など、個人のこととして片付けられない問題も大きく関係しています。

**ポイント**  
DVは、特別なことではなく誰にでも起こりうる問題です。

注1)出典：内閣府「男女共同参画社会の実現に関する調査」平成24年4月

東京都 東京ウイメンズプラザ No.1

### 子供にも影響を与えます

子供のためには暴力を受けても我慢した方がいいのでしょうか？

配偶者暴力(DV)のある家庭では、同居する子供にも加害者から直接暴力が及ぶケースが半数近くあります。<sup>注1)</sup>

子供に直接暴力が及んでいなくても、児童虐待防止法では、DVを目撃することなど著しい心理的外傷を与えることも、虐待であるとされています。

**ポイント** DVは、一緒に暮らしている子供にも深刻な影響を与えます。子供の安全のためにも、まずは専門の相談機関に相談することが重要です。

注1)出典：東京都「配偶者暴力被害の事象と関係機関の現状に関する調査」平成21年3月

東京都 東京ウイメンズプラザ No.4

パネル展示場所：田無庁舎 2階ロビー・住吉会館ルピナス 1階交流ホール

パネル展示期間：11月12日(月)～21日(水)



### 「女性への暴力反対タペストリー作り」ワークショップ開催

11月12日(月)午前10時～午後3時 会場：田無庁舎 2階ロビー

女性への暴力に反対する意味を込めて、好みの布でメッセージを記入したバラの花を作って、タペストリーに咲かせます。ご参加ください。

- P1、 講座・講演会報告 -参加者からの声-      P2、 これからの講座・講演会案内  
 P3、 「西東京市男女平等参画推進計画に関する市民意識・実態調査」ご協力のお願い  
 第3期企画運営委員会委員自己紹介